

県立広島大学ガバナンスに対する 私の所信

県立広島大学名誉教授 中村 健一



本日のPresentation構成

- 1.総括
本学の現状と大学を取り巻く環境
- 2.教育に対する所信
-人材育成目標と教育改革
- 3.研究に対する所信-
-研究推進の方向性と体制
- 4.地域連携及び他大学との連携
- 5.大学経営に関する所信



総括：県立広島大学の基本理念

地域に根ざした県民に信頼される大学

- (1) 実践力のある人材の育成
- (2) 地域にねざした高度な研究
- (3) 大学資源の地域への提供
- (4) 大学資源の効率化



大学を取り巻く環境と大学の役割-1



大学を取り巻く環境と大学の役割-2

文部科学省・中教審

○大学改革実行プラン

H24/6月

第5回 国家戦略会議

幾つかの注目すべき方向性を提示

○未来を創出する大学教育の構築に向けて(答申案)

active-learning 学修時間

H24/8月



5

大学改革実行プラン ～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～

平成24年 6月



Keio University

大学を取り巻く環境と大学の役割

文部科学省・中教審

○大学改革実行プラン

H24/6月

○未来を創出する大学教育の構築に向けて(答申案)

active-learning 学修時間

H24/8月

本学の方向性

人材育成を主軸に地域社会のイノベーションに貢献する「地の創造拠点」

目標・計画委員会→教育システム委員会

目標に向けた着実な体制作りと実践



8

大学ビジョンの内容の構成イメージ

1. 20～30年後の日本の将来像、求められる人材像

- 20～30年後の日本と世界の展望を踏まえた、日本が直面する課題
少子高齢化、産業構造・就業構造の変化、高付加価値を有するイノベーションの創出、高い専門的・汎用的能力を有する人材の量的確保 等
- この課題解決のために、求められる能力
様々な分野での卓越した能力、異文化・異言語の相手との協働、世代・立場を越えたコミュニケーション能力 等
- 求められる人材像・大学教育に対する進学需要
・新たな価値を創造する人材、優れた価値をグローバルに展開する人材、地域・新たな雇用が見込まれる成長分野(医療・介護等)で必要とされる高等教育修

Research Universityの形成

2. 大学の果たすべき役割・機能と課題

- 大学が果たすべき役割・機能
① 生涯学び続け、主体的に考える力を持った人材育成 ② 社会・経済の発展・イノベーションの創出
③ 世界的な研究成果とイノベーションの創出 ④ 地域再生・地域課題解決における中核としての成果の発揮 等
- 現在の大学の課題
① 大学教育が、社会経済の求める人材ニーズに対応していない ② 社会人学生・留学生の割合が低く、人材の流動性を促す仕組みとして不十分
③ 経営上・教学上課題のある大学の存在 ④ 研究で世界と競える大学数が少ない(その地位が低下している)
⑤ 大学の持つシーズ・リソースが社会で十分生かされていない

COCの形成・大学の枠を超え

グローバル化に対応した人材育成

3. 大学政策の方向性

- 大学教育の質的転換 ～ 他の高等教育機関との役割分担と連携の下、学士課程、修士課程、専門職学位課程、博士課程を通じて実施 ～
・高校教育改革、入試、大学教育改革の一体実施 ① 学修時間の増加、教員の組織的教育/学修環境の整備等
・学修成果の把握(アセスメントテスト等) ② 社会人学生・留学生の受け入れ拡大 等
・高等教育における実践的キャリア教育・職業教育の充実 等
- 戦略的な機能強化
・「質の高いリサーチ・ユニバーシティ」・研究拠点の形成 ① 「グローバル」に活躍する人材育成、国際化の拠点大学の形成
・「地域再生の核となる大学・大学群」(COC/Centers of Community)の形成 ② 多様で質の高い中間層の形成(社会人の学び直しを含む) 等
※大学、短大、専門学校 等
- システム・基盤整備
・大学ビジョン等に基づく、メリハリある戦略的資源配分
・大学群の形成に向けた大学連携の推進(国際展開のための大学間連携、連携のための多様な制度的枠組みの整備)
・世界標準の質保証の仕組みの整備(大学ポートレート、評価制度改革、客観的指標整備等)
・大学の質保証の徹底推進(質保証のためのトータルシステムの確立、きめ細かい経営指導や支援、教学上問題のある大学への厳格な対応)
・質的転換のための公財投資の充実、大学のガバナンス強化 等

Keio University

教育

知の資産を 学生に伝える「知の伝承」



大学が果たすべき最も重要な役割

社会からの要請

- グローバル化 → 多元的な文化理解と認容する汎用的能力
- ユニバーサル化 → 確かな伝承 社会人基礎力
- 知識型社会化 → 答えのない課題に答えをみつけることのできる能力の育成



9

教育: 本学における人材育成目標と教育改革

具体的な実践

確かな知の伝承・

- 教育環境の整備・リメディアル教育
⇒ラーニングコモンズの充実, プレイスメントテスト

社会に対応した人材育成

- 異文化理解力養成への多様な取り組み
- コミュニケーションスキル能力養成
⇒他文化交流ネットやEnglish Track等の創設

体系的・組織的な教育実践

- FD活動の充実・促進
⇒教育課題の認識の共有化
- 個の努力→各分野毎の目標と実践の確認
⇒教員間の連携意識の醸成 (チームプレイ)



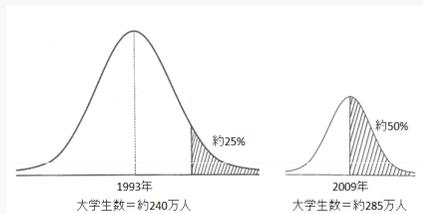
10

教育: 本学における教育への私のこだわるPOINT

ユニバーサル化を迎えた現状において

後姿をみせるだけでは教育は成立しない。

易きに流れることなく、しかし
学生は一定の充足感を講義内容に求めている。



過去の自らの受講体験を踏まえながらも、一度リセットして
学生を目線を踏まえた教育の実践



11

教育と研究

研究により新しいことを知ることの**興味**を抱くことは
大学教員の前提
次世代に、そうした知識の習得と想像力を培うことの
喜びを与えることが**教育**

研究と教育の**相乗効果**が大学に求め
られている。



12

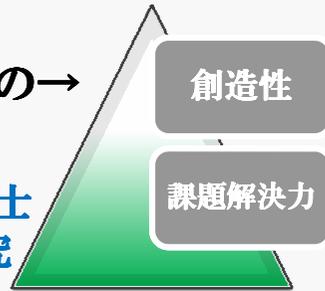
研究

「知の創造」の教育基盤には、教員自身の実践活動が求められる。

- 地域課題研究の発掘
- 外部研究機関との連携
- 競争的外部資金の獲得

研究活動は学生の→
を育む

卒業研究, 修士・博士
課程研究



研究: 本学における研究への私のこだわるPOINT

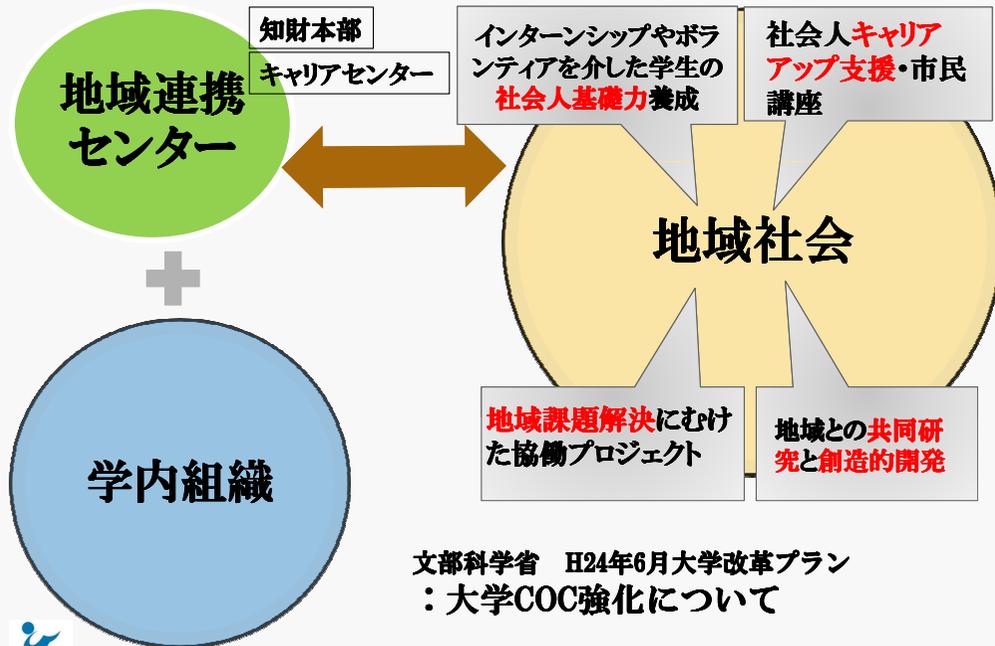
■ 研究における選択と集中は必要
しかし裾野の広がり担保したい
⇒ **基盤研究費 + α**

■ いかなる環境でも研究マインドを持つことが必要

■ 競争的外部資金の獲得を目指すべき



地域との連携



文部科学省 H24年6月大学改革プラン
：大学COC強化について



県内他大学との連携

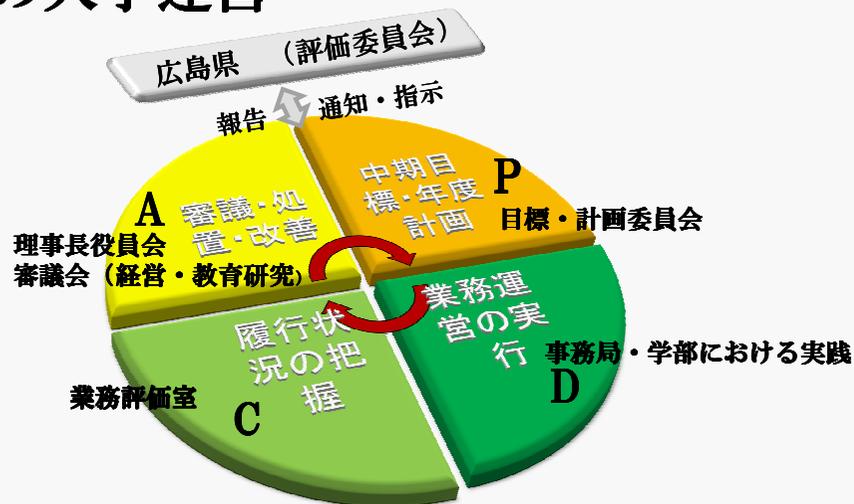
大学改革実行プラン 改革期間中の主な取組

<ul style="list-style-type: none"> ● H24及び第2期教育振興基本計画期間(H25~29)を大学改革実行期間と位置づけ ● 3つのフェーズで、スピード感と実行力を持って取り組む 	<p>H24 改革始動期</p> <p>国公立大学の設置機帯を超えた連携</p> <p>COCの具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学ビジョンの策定 大学・学部・学部の再編 国立大学改革基本方針の提示
<p>H24 改革始動期 ～国民的議論・先行的着手、必要な制度・仕組みの検討～</p> <p>H25・26 改革集中実行期 ～改革実行のための制度・仕組みの整備、支援措置の実施～</p>	<p>H25・26 改革集中実行期</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生の「主体的な学び」の強化 大学情報の公表の徹底(大学ポートレート) 評価制度の抜本改革 質保証の支援のための新たな行政法人の創設 大学の研究力強化のための支援の加速化 高校教育と大学教育を通じた学力保証 国立大学改革プランの策定
<p>H27~29 改革検証・深化発展期 ～取組の評価・検証、改革の深化発展～</p>	<p>H27~29 改革検証・深化発展期</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学改革の取組を評価・検証 大学改革を深化発展

【改革の目指す主な具体的目標・成果の例】

- 【生涯学び続け、主体的に考える力を育成】
 - ・主体的な学修ができる環境を整備し、学生の学修時間を欧米並の水準に
- 【グローバル社会で活躍する人材の育成】
 - ・20代前半までに同世代の10%が、海外留学等を経験
- 【我が国や地球規模の課題を解決する大学・研究拠点の形成】
 - ・世界で戦える「リサーチ・ユニバーシティ」を10年後に倍増
- 【地域の課題解決の中核となる大学の形成】
 - ・全国の地域圏で、大学が地域再生の主要な役割を果たすセンターに

本学の大学運営



大学経営

大学のリーダーに求められるもの

- 大学構成員の**能力を引き出し**、主体的に大学運営に当たる。
- 大学構成員間での**情報共有化**と社会に対する大学情報の積極的な情報発信に努める。
- 点検・評価**と**改革**を推進し、大学の諸活動の質的向上を図る。
- 効率性と民主性**を調和した大学運営



大学経営においてこだわりたいPOINT

(1) 効率性と民主性を調和させた大学運営

- 大学アドミニストレーターの養成
(教学改革支援・教育・研究支援・入試改革)
- 共通の組織目標の浸透, 情報の開示, 積極的な対話
- 昇進, 任用基準の明確化

(2) 教員・事務職員の協同化の促進

- 協同による企画・提案
- 事務職員の研修会・学会等への積極参加

(3) 事務等の作業効率化

- ICTの積極的な活用



広島県におけるCOCの核たる存在に



●あらゆる分野での力の源泉は「人」です

- 社会人・職業人としての資質・能力を育むキャリア教育・PTAや職業教育などの取組を、地域ぐるみで推進します。
- インターンシップ・PTAの充実、就職指導体制の一層の充実
- 地域社会や産業界等と連携した高校生等の就業能力の強化
- 県内の高等教育機関が行う、社会が求める人材育成や地域に貢献できる教育研究を支援します。
- 県内大学等における実践的な人材育成の推進
- 働きながらもスキルの向上や転職等に必要新たなスキルの取得を目指すよう、社会人が学びやすい環境づくりを進めます。

たど

公立大学法人 県立広島大学

